

大学自己評価部会だより

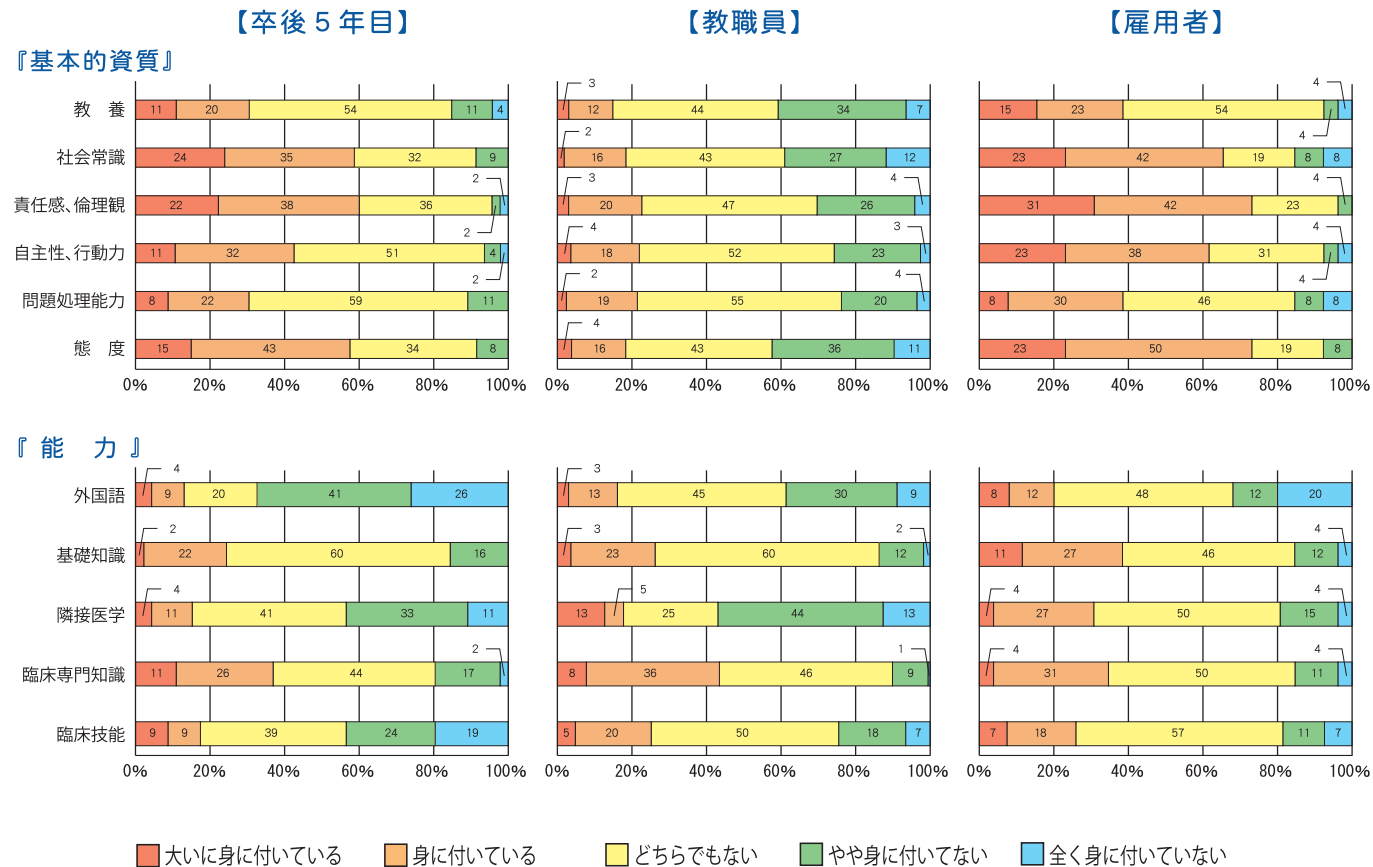
第6号 (平成20年7月)

アンケート調査結果を報告します

平成19年4月に、卒後5年目の卒業生、教職員、雇用者の方々にアンケート調査をお願いしました。今回は、本学卒業生・大学院修了生の資質や身につけている能力について報告いたします。

1) 卒業生が身につけているか

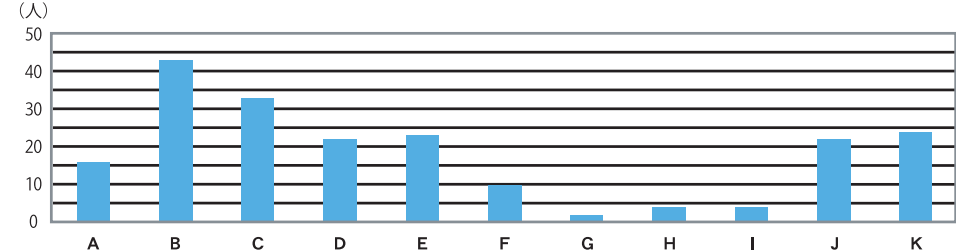
『基本的資質』については、卒後5年目の卒業生や雇用者より教職員が、身に付いているとする評価が少なかったようです。『能力』については外国語が低く、特に臨床技能については卒業生から身に付いていないという評価が多かったようです。



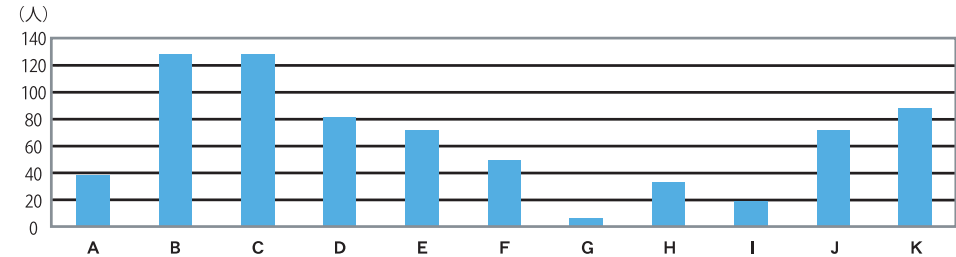
2) 社会に出て重要だと思われる資質

卒後5年目の卒業生と教職員が選んだ『社会に出て重要だと思われる資質』はほぼ同じ傾向でした。

【卒後5年目】



【教職員】

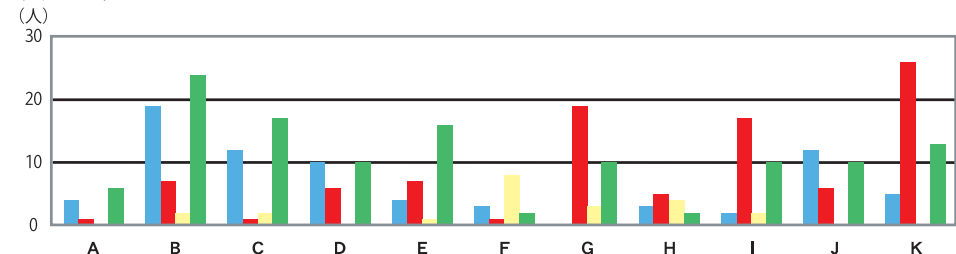


- A. 教養
- B. 社会常識
- C. 責任感・倫理観
- D. 自主性・行動力
- E. 問題処理能力
- F. 態度
- G. 外国語
- H. 基礎知識
- I. 隣接医学
- J. 臨床専門知識
- K. 臨床技能

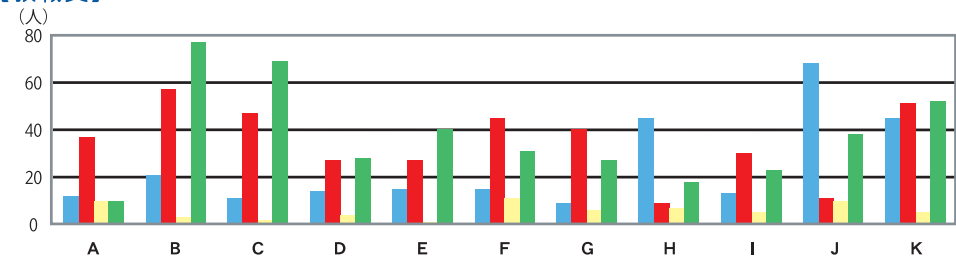
3) 九州歯科大学の教育の充実度

臨床専門知識は比較的充実しているが、臨床技能は不足しているという意見が多く見られました。また、卒後5年目卒業生からは外国語と隣接医学の不足が指摘されています。

【卒後5年目】



【教職員】



- A. 教養
- B. 社会常識
- C. 責任感・倫理観
- D. 自主性・行動力
- E. 問題処理能力
- F. 態度
- G. 外国語
- H. 基礎知識
- I. 隣接医学
- J. 臨床専門知識
- K. 臨床技能

- 充実している
- 不足している
- 過剰
- 今後重要